

特集「人権・多様性社会」について考える その2

地域のイベントで おもいやり駐車場

〈坪生学区〉

坪生学区では、昨年秋に開催したイベント「つぼうふれ愛フェスティバル」で「おもいやり駐車場」のマークを設置しました。

これは、広島県が交付しているもので、県の許可を得てメイン会場の坪生小学校体育館そばに設けた駐車スペースに設置しました。

坪生学区では、以前から「おもいやり駐車場」に取り組んでおり、対象者が来場した際は係が案内をしていました。しかし、役員の負担軽減が議論される中、必要な取組を持続可能にするため、今回マークの設置に至ったそうです。

「合理的配慮」は街に不可欠

障がいがある人がイベントなどに自由に参加できるよう配慮することは、近年では当たり

前の考え方として定着しつつあります。

こうした「できる配慮」をすることを「合理的配慮」と言います。お互いを思い合うことは、誰もが地域で不利益を感じることなく暮らすために不可欠であり、人権学習などの機会に、共有し合う努力が求められています。



広島県のおもいやり駐車場のマーク

「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部入れこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。